

想いの付箋

— 読んだ人の人生が、本に挟まれていく —

平野屋ライブラリは、これから訪れる皆さまと一緒に つくっていく空間です。

本を開く前に、ページから少しはみ出した 付箋が目に入るかもしれません。

それは、かつてこの本を手を取った 誰かの気づきや想いの痕跡。

心に残った言葉、立ち止まった一行があれば、なぜそう感じたのかを

付箋に書き、本を閉じたときに 少しだけ見えるように 挟んでください。

それは感想ではなく、あなたが今どう生きているか という痕跡です。

読まれ、挟まれ、また誰かに受け取られる。

そうしてこの場所は、単なるライブラリではなく、訪れた人の想いが

積もっていく空間になります。

誰かの想いが、知らない誰かの心をそっと温める。

その連なりこそ、想像力を持つ人間の豊かさを表していると、平野屋は考えます。

どうぞ、あなたもこのライブラリを完成させる 一人になってください。